

卓話講師：宇津救命丸株式会社 会長 宇津 善博 様

卓話演題：宇津救命丸 創業 428 年の歴史

荏原税務署 署長 三國谷 嘉晃 様 「税の使われ方～日本の財政と予算～」 2月19日



2013年に財務省入省、今年で12年目です。入省後は人事関係に携わりました。その後、厚労省へ出向、労働政策に従事、シカゴ大学へ留学を経て、直近では財務省の主計局で国土交通省の国家予算編成をおこなっておりました。昨年7月より荏原税務署で署長を務めております。

今日は税金の使い方ですとか、国の財政ということについて簡単にお話をさせていただき、皆様にも国家財政について考えていただく機会にできれば幸いです。

国の財政についてですが、税金は言うなれば国民の「会費」です。簡単に申し上げれば、会費をみんなで払い、その会費をみんなでどういうふうに使っていかうかということが財政ということ。1億2000万人いるということで、どうしても遠く感じてしまうところがありますが、皆様ご自身のご負担とそれからそれをどう使うかということ。これを国民1人1人が当事者ということで考えて頂けたらありがたいと思います。

令和6年度の予算は総額112.6兆円。主な収入は租税70兆円、国債発行35.4兆円です。主な支出は社会保障38。大きな支出項目です。1990年（平成2年）と比較すると、予算規模が約50兆円増加です。その主な要因は社会保障費の増加（26兆円増）で、これが赤字公債発行の主要因となっています。財政の持続可能性が課題となっており、令和6年度末の公債残高は1105兆円に達する見込みです。

そういった諸状況の中で、なかなか会費内で賄えていないというような財政状況になっておまして、これをどう持続可能にするかということですが、「そもそも国が赤字公債発行して何が悪い」ですとか、「国は日銀がお金を発行すればいいので特に問題ないのである」など経済学者の間でも様々な議論が交わされています。詳細に立ち入りますと1、2時間かかる議論となりますので、今日は皆様から集めた会費をどうやって使っていかうか、なんでもかんでも借金すればいいわけではない、ということを仮に前提にして、どうやって使っていかうかということを考えられればというふうに思っております。

実際私がかかわった政策として、住宅購入とリフォームの補助金制度「子育てエコホーム支援事業」というものがあります。脱炭素化のための住宅補助金を100万円支給するというもので、非常に人気があります。ただ、こちらもちろん賛否両論があります。この補助金は、直接の受給者だけでなく、CO2削減を通じて社会全体に利益をもたらす可能性があります。環境保全や異常気象の防止など、長期的な視点では補助金の受益者と負担者の区別が明確ではありません。補助金制度の運営には事務手続きや管理コストがかかりますので、約2500億円の予算が使用されています。個別政策の正当性だけでなく、優先順位や財源確保の観点からも検討が必要と考えられます。2500億円の省エネ住宅政策は人気があり、CO2削減に効果を上げているように思います。国民1人当たり約2000円の負担で実施されていますが、これを享受できる人とできない人もいますので不公平とするか、長い年月のCO2対策と考えるとよしとするかです。もう1点は空き家対策の政策です。59億円の予算が計上され、解体や改修への補助金制度がありますが、こちらについても同様に、所有者の責任である、税金投入の是非について議論があります。反面、空き家を放置することで発生する防犯上の問題や、野生動物が住み着いたりといった周囲への被害もありますので難しいところです。

「支援」というと、何かキラキラして聞こえるわけですが、決してフリーに行われてるものではなく、みんなで分け合って負担しようと、ある意味分かち合いになるということです。先ほど申し上げたように個人の価値観、または世代による価値観の相違が出てくる場合があります。そういった意味でも議論や関心持ってみていただくと疑問に思われれば、国会であれ行政であれ皆様から監視していただくことが非常に大事なことに思っております。国の財政とかそういったことにも一つ目を向けていただくとありがたいと考えます。

◆ニコニコ（年間目標 800,000 円）◆

2月19日（水）例会 29,000 円

荏原税務署署長三國谷様、本日は日本の財政と予算について宜しくお願い致します。

小室会員

三國谷署長宜しく申し上げます秋山会員
3月20日さくら祭りのポスターができましたので宜しくお願い致します。

山田会員

相沢さん昨日はありがとうございました。

小熊会員

小熊さん昨日は一日ありがとうございました。
相沢会員

【季節の挨拶】

沖野会員 勝山会員 町田会員
宮尾会員 坂田会員 泰地会員
竹内会員 百束会員 渡辺会員
白井会員 山元会員 影山様

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 600,000 円
（年間目標 800,000 円）

◆例会出席報告◆

2月19日（水）例会

出席者 29 名 ビジター・ゲスト 4 名
出席率 90% 前々回出席率 78.4%

◆例会予定◆

◆3月1日（土） 13:00

第 2750 地区地区大会本会議

13:00 から本会議 16:00 クラブ紹介

◆3月5日（水） 振替休会

◆3月12日（水） 日帰り親睦旅行

◆3月19日（水） 例会

◆3月26日（水） 観桜会

◆4月2日（水） 休会

◆報告事項 お知らせ◆

2025 年 2 月 19 日例会 会長幹事報告

【会長報告】

■ 3月1日（土） 2750 地区 地区大会の件

3月1日（土）に国際館パミールにて 2750 地区 地区大会が開催されます。地区本会議は午後 1 時からですが、クラブ紹介は 4 時ごろの予定です。なお、本年はクラブ事務局の派遣がありません。

1階の京浜グループ受付にて、ご署名の上、プログラムをおとりになりまして、3階本会議会場へお進みください。

また、名札のご用意はございません。

◆臨時会員総会 ポリオ寄付年間 30 ドル徴収について◆

2025 年 2 月 19 日臨時会員総会が開催されました。

2750 地区の達成目標にそって、2024-25 年度よりポリオ寄付として、年間 30 ドル/1 人を会費請求時に徴収させていただくことが全会一致で承認されました。

◆青少年交換生マルゴー小学校訪問◆

東京大森ロータリークラブ様の奉仕活動である【大田区立開桜小学校 交流授業】に、来日生・ROTEX が小学 1 年生の授業に参加・体育館での昔遊び・給食の時間を過ごしました。『小さな親善大使』の来日生が、児童たちに各国への興味やあこがれを生じさせたと、確信できる活動であったと、確信しています。（2750 地区青少年交換委員会）



国際ロータリー第 2750 地区 東京品川中央ロータリークラブ 会長 小室たけし 幹事 白井利枝子
設立 1967 年 10 月 18 日 例会場 グランドプリンスホテル高輪 「桜花」水曜日 12:30～13:30
事務局 〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-1 グランドプリンスホテル新高輪 E-4
TEL 03-3443-6000 FAX 03-3443-6002 <http://www.shinagawachuo-rc.com/>

